

くすのき



西合志第一小学校
学校だより 第17号
文責 校長 西村羊治
令和6年5月29日

校訓「かしこく やさしく たくましく そしてふるさとを愛する子どもに」

気持ちよく過ごせた一日

運動会も終わり、27日（月）朝7：30、私がいつものように竹箒を持って学校南門の前の道から西門の方に歩いていると、後ろからさわやかで清々しい「おはようございます！」という声をかけてくれる人がいました。振り返ってあいさつを返すと、西合志中学校の1年生でした。向き合っていない後ろからしてくれたこと、声のトーンからその生徒の気持ちのおだやかさを感じたこと、私に気づいて先にしてくれたこと、遠い距離を自転車でしかもレインコートをきちんと着て、ヘルメットやタスキもきちんと付けていたこと、一生懸命ペダルをこいでいたこと等をその数秒間で感じることができ、心が温かくなり「気持ちのこもったあいさつ」のすごさを改めて実感しました。そういう気持ちにさせてくれた西合志中学校の生徒さんは、すばらしいと思いましたし、私はその日一日気持ちよく過ごすことができました。早速その日、西合志中学校の田崎校長先生に、そのことを伝えました。ちょっとしたことですが、気持ちの良い小中連携ができました。その機会をつくってくれた中学生に感謝です。「ありがとう。これからも安全に通学してください。」という気持ちになりました。私も中学校時代は自転車通学でした。雨の日、靴下は濡れるし、レインコートを着ていても中は汗でびしょりになるし、大変だったことを思い出しました。そのようなことを思いながら「中学生、がんばれ！」とつぶやいている自分がいました。気持ちの良い一日をありがとう。



気持ちの良いあいさつをしてくれた西合志中学校生

子どもの好奇心

28日（火）の朝は雨でした。でも多くの子が傘を差して歩いて登校しました。ある班の子たちが道ばたで私を呼んでいます。どうしたのかと思うと「校長先生、カニー、カニー！」と叫んでいます。えっ、と思っ子ども達が指さす南門近くの道ばたにうずくまっているカニがいました。私の母は天草の高浜という所の出身で、小学生の夏休みは家族で高浜の白鶴浜でよく泳いでいました。カニもクラゲもフナムシもたくさんいました。子ども達がこの合生でめったに目にしないカニを見て「校長先生取ってー！」と感情丸出して叫んでいたのも、調子に乗ってカニをつかまえました。カニはさぞ怖かったことでしょう。一応、2年生と1年生の担任の先生に見せたかったようなので、児童昇降口まで児童と一緒に持って行き、担任の先生に見てもらいました。その後は一緒に、元いた場所に返しました。その1年生と2年生の子は、「元気でねー」と手を振っていました。私も一緒に手を振りました。57年生活をしてきて、カニに手を振ったの初めてのことでした。何か幸せを感じる時間でした。ちょっとしたことに興味を持つ小学生、生き物の命を大切にしている小学生、ほのぼのとした時間をありがとう！

カニを不思議そうに見る子ども



学校南門近くの道端にいたカニ

子ども達の「好奇心」を大切にしていきたいです。